

# 広報誌「CCC」の表紙の写真

平成10年2月号

山梨県内は今年に入って8-9日と11-12日に次いで、15日と3度の大雪に見舞われた。特に1月15日は記録的な豪雪となり、山中湖で積雪120センチを記録。甲府でも49センチとなるなど、ほとんどの地域で観測史上最高の記録的な大雪となった。

鉄道は全線で運休、高速道路も通行止めとなり、路線バスも運休。幹線道路、一般道路ともスリップ事故や坂道などで立ち往生した車で、各地で渋滞が相次いだ。各交通機関がマヒし、言わば陸の孤島と化し建設業者も終日、除雪作業にフル回転した。

「こんな大雪は初めてで、とても追いつかない」と言いながらも、また重機もスリップする中、誰もいやがる危険な作業に精を出した。10日が過ぎてもなお「作業員は家にも帰れず、会社で仮眠しながら必死に残雪と格闘している」「人件費や経費がかさみ大赤字」と悲鳴をあげる一方、今年の労働災害第1号が出てしまった。

なかなか一般には知られないボランティアの一幕。

## 「除雪作業」実施に伴う諸問題を総括 会員企業を対象にアンケート調査

山梨県内は一月に入り三度の大雪に見舞われ、殆どの地域で観測史上最高の記録的な積雪となった。公共交通機関も運休が相次ぎ、高速道路、幹線道路、一般道路ともスリップ事故や立ち往生した車等でマヒ状態。言わば陸の孤島と化し社会生活への影響も深刻化した。

建設業者も昼夜を問わず、仮眠を取りながらの必死の除雪作業が続いた。協会会員企業の献身的な努力に対し、多くの県民から感謝の言葉も戴いているところであるが、その一方で、数々の問題点も指摘されたのも事実。

そこで、広報委員会では広報委員を通じて「除雪作業の実施に伴う諸問題」について、会員企業にアンケート調査をし、除雪作業を総括するとともに、今後、行政あるいは住民との相互理解への一助とすべくまとめてみた。

### ■除雪作業で苦心したこと

「除雪というより排雪しなければならなかったが、雪の捨て場、運搬の手段がなかった」  
「道路を開けるのが優先なのに、住民から数少ない排雪場所さえ『ここには捨てるな』などの苦情が殺到した」  
「タイヤチェーン、バケットの爪などの損料が意外とバカにならない。チェーンだけで四セット駄目になってしまった」  
「県、町、民間など除雪箇所が多く重機の手配、オペレーターの確保・配置が大変」

「交通渋滞があり、排雪に手間取った」

「歩道が通行不能のため車道を歩く人への安全確保に苦労した」

「リース会社にも重機の空気が無くなり手配に困った」

「作業員が早朝から夜遅くまで仮眠を取る程度で頑張っているのに、報われない」

「センターライン上のジェネレーター（鋸）が埋め込んであるところの除雪」

「立ち往生している車の排除が仕事だった」



「チェーン規制で高速から下ろされた車が一般道で通行の妨げとなっていた」

「除雪作業だか、救援作業だか分からなくなかった」

「一生懸命やつても思うように作業が進まないのに、早く早くと急がされた」

「倒木等の処理に苦労した」

「道路上の作業であるため、運転手は大型特殊免許が必要と思うが、車両系建設機械の資格だけで作業させなければならなかった」

## ■作業中の事故発生への不安

「マンホールが路面より上がっていったためグレーダーのブレードが引つ掛かり胸を強打した」

「事故を起こさないように最も注意を払った」

「凍結によりタイヤプルでの除雪が困難になり、バックホーや人力で対応した」

「一般車両と除雪車両との接触事故が恐ろしい」

「除雪をしていないところへ行くのだから当然危険を伴う。オペレーターは物凄く神経を使う。出来ればやりたくない」

「第三者への危険と保障の問題」

「受け持ち区間まで行くのに距離が長いため事故の危険がある」

「急勾配やカーブのきついところの作業は機械が横滑りをする」

「自主的な出勤時の事故発生についての責任」

「電線の垂れ下がりが危険」

「夜間の出勤要請は出来れば控えてほしい」

## ■除雪のために普段企業努力して

### くまもと

「天気予報に気を付け、雪の降る前日には夕方タイヤプル等を現場から集めておき、タイヤチェーンを巻いて準備している」

「キャビンなしの重機にもヒーターやシートなどを装備するようにしてオペレーターの苦痛を改善した」

「重機に除雪専用のアタッチメントを用意している。また社有車に融雪剤散布機を取り付けている」

「一般車両の通行確保のため、早朝や夜間の作業を中心にやっている」

「危険防止のため見張りを付けている。また除雪しやすい時間帯を探るためパトロールをしている」

「除雪後の巡回、積雪状況の調査」

「二十四時間体制のチーム編成を取っている」

## ■作業に掛かる経費等について

「行政より金額が提示されていないので分からぬ」

「除雪専用機械を保有しているが、その車検料・保険料を見てもらいたい」

「実情に見合った経費を見てほしい」

「奉仕の精神は十分に持ち合わせているが、最低限の経費を見てほしい」

「作業運転者や先導車に対しての保険をどうするか」

「経費は事前にはつきり決めておくべきだ」

「バックホーでの作業は日数も掛かり、当然費用もかかる」

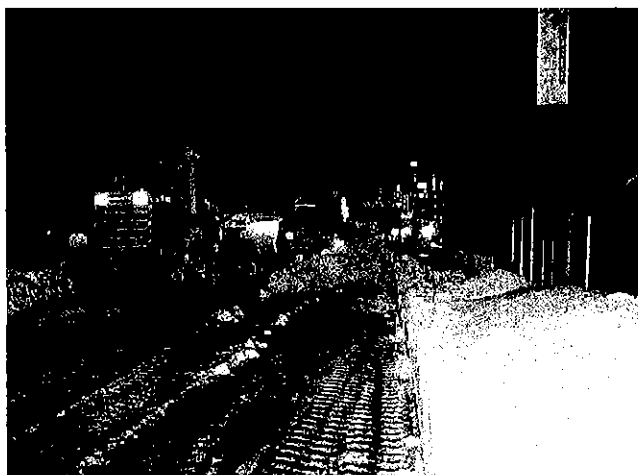
「役所の考えで良い。諦めている」

「緊急事態であるから利益を目的としていないが、収支ゼロ程度は補償してほしい」

「本来、公道を走る目的の無い重機までも駆り出されたため、無車検のものもあった。除雪だけのために車検はとれない。

危険を伴う作業なだけに事故発生の際の対応が心配」

「作業が深夜まで及び非常に厳しい。夜間



割増を」

「道路だけでなく各家の出入口、部落へのアクセスの除雪もしている」

### ■住民にお願いしたいこと

「道路に駐車してある車は除雪の済んだ所へ速やかに移動したり、重機が来たら一緒に手伝って掃ききれない端の雪を道の真ん中に集めてほしい。そうすれば玄関口を雪で塞いだりせず奇麗に除雪できる」

「業者だから除雪して当たり前という態度が納得できない。何処の業者も直工にもならない金額しかなくても一生懸命やっ



ているのに「請け負ってやっているのだからちゃんとしろ」などと言われたりするとがっかりする」

「除雪した後、路肩の雪を道路に投げ出さないでほしい」

「順次、除雪を行うので場所により時間が前後する地域が出たが理解してもらいたい」

「ドライバーは必要最小限のマナーは、厳守してもらいたい。ノーマルタイヤで走るのは以っての外」

「外出をできるだけ控えてもらいたい。路上駐車や乗り捨ては止めてもらいたい」

「水路が溢れているのに、まだ雪を捨てるなんて。余計な仕事が多くなった」

「個人的な依頼が多すぎる。自分の家の回りは自分で。また自分の生活は自分で守ることは当然のこと」

### ■行政との対応で戸惑ったこと (要望等)

「防災無線などを使って住民に除雪に協力するよう呼びかけてほしい」

「作業指示、要望などの連絡の統一と交通渋滞時の対応」

「業者に任せっきりは良くないと思う」

「予期せぬ大雪だったからしかたないが、普段からマニュアルを作っておくべきだ」

「除雪作業は命懸けの大変な作業だ」

「除雪路線の通行制限もしくは一方通行を考慮してもらいたい」

「行政の指揮に迷いを感じた。的確でない指示は出さないでくれ」

「警察もノーマルタイヤ車両の取締をしっかりやってもらいたい」

「パトカーで除雪作業の先導なり、交通整理をしてもらいたい」



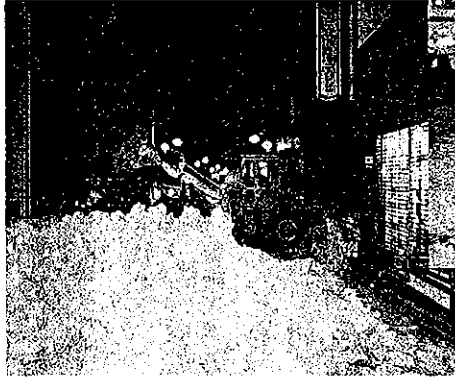
「降雪中の除雪をするのか、しないのか早く連絡してほしい」

「道路に駐車場、あそこもここも同時に言われても出来ない」

「国、県、市町村、警察、業者からなる災害対策本部を設置して、連絡網をしっかりとする。除雪方法、

順序、段取りなどを事前に決めてほしい」

「人身、物損事故の対応をはっきりさせてほしい」



「土木事務所も業者も夜中に出て作業しているのだから、警察は事故が起きる前に緊急配備をとるべきだ」

「住民からの苦情電話をそのまま業者に言うな。出来る限りのことをしているのだから、もっと作業を理解してほしい」

「警察署からの連絡でなく土木事務所からの方が動きやすい」

「積雪量の写真は各地に観測地もあることだから不要なのではないか」

「道路管理者の相互支援システムと情報ネットワークを確立すべきだ」

### ■協会として大雪等災害時の対応に関する提案

「除雪作業に対する一般への理解と協力を呼びかけてほしい」

「公共事業に関わる業者全員で平等に対応する手段を考えてほしい」

「積雪量に応じた緊急危機管理マニュアルを作成し、行政との意志統一を図ってほしい」

「金を貰ってやっているのだからもっと綺麗に掻け、と罵声を浴びせられるのはPR不足」

「関係機関と共にテーブルにつき方法論を検討すべき」

「非協会員にも参加させるべきだ」

「雪が降ると、会社には苦情だけが飛び込んでくる。啓蒙が必要」

「道路状況の情報を協会で集めたら」

### ■その他

「一般の人よりジュースの差し入れやご苦労様の一言がうれしく、励みとなった」

「自分さえ良ければ主義の人、暖かい飲み物を差し入れてくれる人、様々でした」

「スキー場のノーマルタイヤでもOKの広報は止めさせるべきだ」

「山奥の住人が笑顔で迎えてくれた」

「機械を持っている業者とそうでない業者とでは対応が違うもの」

「深夜の融雪剤散布に対し、住民から後日お礼のハガキを戴いた」

「夜間作業をしていたところ会社に嫌がらせ電話が何回も掛かってきた」

「嬉しかったことは無いが、腹立たしかったことは多すぎて記しきれない」